

0 ベクトル積 (外積)

\mathbb{R}^3 の基本ベクトル i, j, k を

$$i = (1, 0, 0), \quad j = (0, 1, 0), \quad k = (0, 0, 1)$$

により定める.

$a = (a_1, a_2, a_3), b = (b_1, b_2, b_3) \in \mathbb{R}^3$ を 2 つの空間ベクトルとすると、 a, b のベクトル積(または外積) $a \times b$ を

$$\begin{aligned} a \times b &= (a_2b_3 - a_3b_2, a_3b_1 - a_1b_3, a_1b_2 - a_2b_1) \\ &= \begin{vmatrix} a_2 & a_3 \\ b_2 & b_3 \end{vmatrix} i - \begin{vmatrix} a_1 & a_3 \\ b_1 & b_3 \end{vmatrix} j + \begin{vmatrix} a_1 & a_2 \\ b_1 & b_2 \end{vmatrix} k \end{aligned}$$

により定める. 便宜的に行列式の記号を使って

$$a \times b = \begin{vmatrix} i & j & k \\ a_1 & a_2 & a_3 \\ b_1 & b_2 & b_3 \end{vmatrix}$$

と覚えておくと便利である.

演習 0.1 次のことを確かめよ.

- (1) $i \times j = k, \quad j \times k = i, \quad k \times i = j.$
- (2) $a \times b = -b \times a.$
- (3) $(a + b) \times c = a \times c + b \times c, \quad a \times (b + c) = a \times b + a \times c.$
- (4) 任意の実数 c に対し, $(ca) \times b = a \times (cb) = c(a \times b).$

演習 0.2 逆に, 上記の (1)–(4) の性質を満たす演算 $\mathbb{R}^3 \times \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^3$ は上で定義したベクトル積以外にはありえないことを示せ.

[ヒント] $a = a_1i + a_2j + a_3k, b = b_1i + b_2j + b_3k$ と分解し, (1)–(4) を使って i, j, k の線形結合として表してみる.

幾何学的には, ベクトル積は次の (i)(ii) を満たすベクトルとして定まる:

(i) $a \times b$ の大きさは, a, b の張る平行四辺形の面積に等しい. ただし, 面積が 0 の場合 (a, b が平行, または, a, b のどちらかが 0 の場合) は, $a \times b = 0.$

(ii) $a \times b$ の向きは, a, b 両方に直交し, さらに, a を b の方に回転するとき右ねじが進む方向.

実際, a, b に対し (i)(ii) を満たすベクトルを与える演算 $\mathbb{R}^3 \times \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}^3$ は上記の (1)–(4) を満たす. 具体的には, a と b のなす角を θ ($0 \leq \theta \leq \pi$) とし, (ii) の方向の単位ベクトルを u とおくと, $a \times b = (\|a\| \|b\| \sin \theta)u$ となる.